

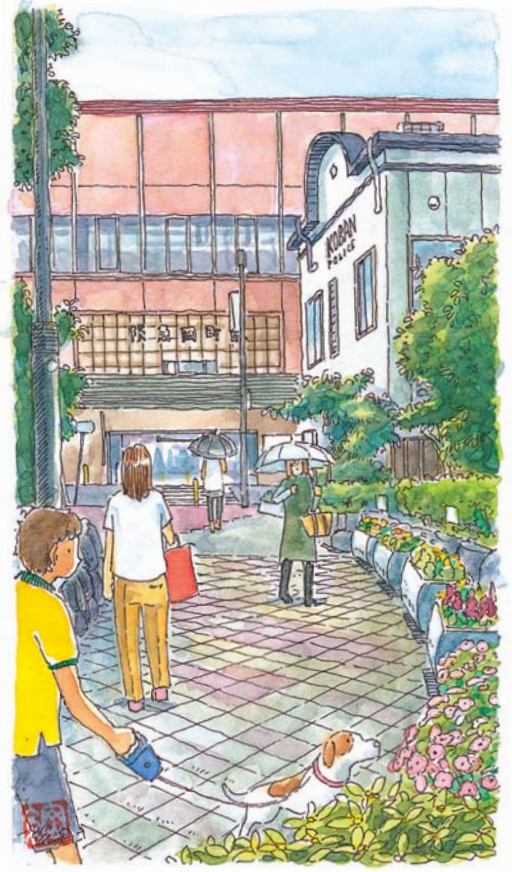
# 阪急沿線 ちょい駅散歩

48駅目

**おかまち**  
岡町  
OKAMACHI

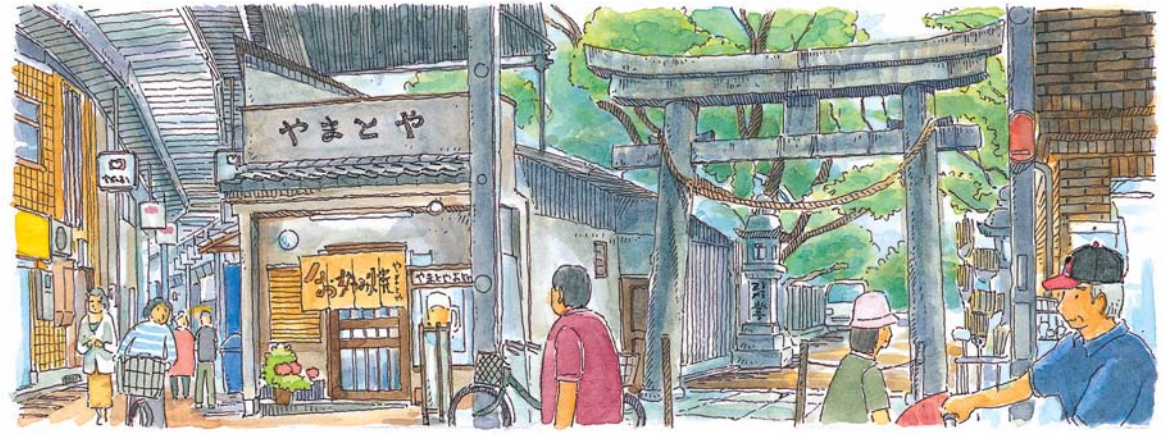
← **そね** SONE →      → **とよなか** TOYONAKA →

服部駅と共に豊中市内に最初に出来た駅。駅の東側へ降りるとにぎやかな商店街、西側へ降りると古墳群やのんびりとした住宅街が広がっている。昭和という言葉が似合う、どこか懐かしい下町でほっこりしつつ、商店街で頑張る女性たちに元気をもらいに行こう!



**岡町駅** | 所在地 / 豊中市中桜塚1丁目  
設置 / 1910年3月10日

## 商店街を支える元気な女性たちに会いに

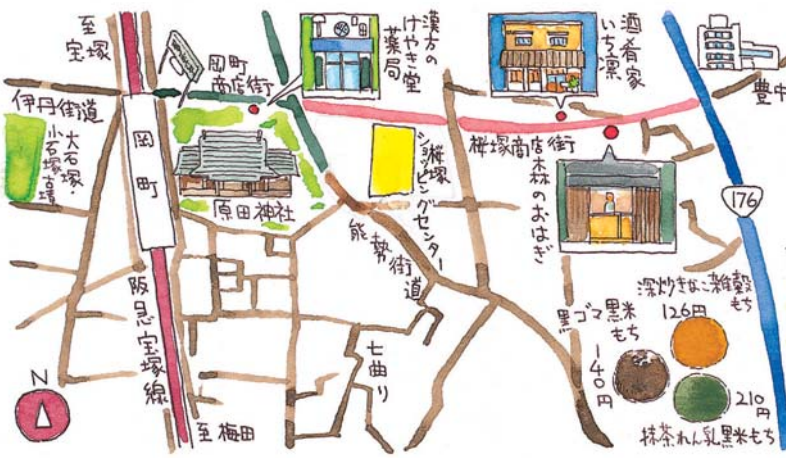


### 原田神社 町の真ん中に鎮座する由緒正しい神社

神社周辺は能勢街道と伊丹街道が交わる要衝として、かつては大変にぎわったところ。神社の創建は672~686年とされ、中世までは72カ村、現在の吹田市江坂から尼崎市の辺りまでが氏地だったというから驚き。「祖父や父が岡町の開発のお役に立てるなら、と神社の土地を無償で明け渡していったそうです。今の

時代では考えられないことですが…」と宮司の高島光典さんは話す。元々、駅や神社周辺の商店街などは境内になっていた場所で、特に駅の開業当時は神苑の緑の中を走る電車の姿に「えらいものが出来た」と街中大騒ぎになったのだとか。

●境内自由 / ☎06-6852-4732



### 歴史の面影残す「七曲り」

駅の南東にあたる中桜塚1丁目には地元の人から「七曲り」と呼ばれる場所がある。住宅街を通る道が、くねくねと7回曲がっているののでそう呼ばれていて、古い町並みの特徴なのだとか。また、原田神社脇の細道に入ると、趣のある木壁の住宅が続き、「牛車」の文字が彫られた道標も立つ。本には載らない、街中の小さな歴史の足跡を訪ねて歩くのもおすすめ。



### 漢方のけやき堂薬局 ご神木が見守る薬屋さん

1階部分の天井を貫くケヤキの不思議な光景が名物の同店。戦後から続いた老舗昆布屋の後、「漢方のご神木の優しい組み合わせ」を気に入った代表の岡北さんが受け継いだ。今は枯れた幹のみを保存しているが、お客さんからも穏やかな気持ちになると評判が良い。

※ケヤキの見学は、一声かけてから静かに観賞を。  
◎夏の水分補給にもオススメ「健康茶」1,029円は気軽に飲める薬膳茶。●10:00~19:00 / 日曜と8月23~26日は休み / ☎0120-58-5014

### 酒肴家いち凛 “今日のごちそう”を頂きに

食べることが大好きだったイラストレーター・本田さんが自ら店舗の図面を引いて開いた料理店。大きなカウンターを真ん中に据えた機能的な空間は居心地が良く、まるで我が家のような。家庭料理にアイデアを加えて一ひねり、そんなメニューが毎日約50品そろって、値段も手ごろとなれば、昼夜にぎわう人気店なのも納得。

◎夏の一押しメニューは「トマトサラダ」680円。  
●11:30~14:00(月~金曜のみ)、17:00~22:00 / 日曜・祝日と8月12~16日は休み / ☎06-6858-3320



### もり森のおはぎ 店先に並ぶ進化系おはぎ

「抹茶れん乳黒米もち」「ほうじ茶黒米もち」など個性的な名前に、ふっくら、まん丸、おはぎのイメージを裏切る愛らしい姿。保存の利くギリギリまで砂糖を押さえているから、素材の味も香りもしみじみ広がる。森さんが目指す飽きのこないおはぎに、みんな虜になってしまいそう。

◎おはぎは常時約8種類。夏期はわらび餅「ずんだ涼白玉」330円がおすすめ。●10:00~13:00、14:00~売り切れ次第終了 / 日・月曜(8月12-13日は営業)と8月19~23日は休み / ☎06-6845-1250